

## スリーブ管を土壤に抜く恐ろしさ

シロアリは寒さにとっても弱い昆虫ですが、冬眠することはできません。冬場のシロアリは土壤の暖かいところに集まり、そこで活動しています。

冬場に住宅周囲の土壤で暖かくなるところは「排水柵」「排水管」「給湯管」。これらにシロアリが集まり、給排水管に沿って移動すると基礎コンクリートに到達します。そこにスリーブがあれば、シロアリは基礎内に容易に侵入できてしまいます。基礎外断熱材も大きな侵入経路です。

住宅性能表示制度・維持管理対策等級によると、給排水管は「スリーブ管」とすることになっています。しかし、スリーブ管を土壤に抜いてしまうと、シロアリ侵入のリスクが極大化するのです。ぜひ「スリーブ管を立上りから抜く」ことをご検討ください。



基礎外周土壤に抜かれたスリーブ管。  
給湯管に集まったシロアリが容易に侵入できる。  
スリーブ管と給湯管の隙間を埋めたとしても、給湯管の保護材を食い進む可能性も懸念される。



追い焚き管の保護材を食い進まれた事例。  
スリーブ管が土壤に抜けていた。



基礎断熱材を蟻道代わりに使われている事例。  
基礎断熱の場合、外だけでなく、内で使用する際にも注意が必要。  
防蟻断熱材を使用し、かつ、防蟻成分が無機物であるものを推奨  
(有機物は分解されるため)。



スリーブ管を基礎立上りに抜いた事例。  
紫外線対策と、寒冷地では凍結対策を行う。  
これだけで、シロアリ侵入リスクをかなり小さくできる。

